



子育て支援センター

「ひまわりのたね」だより

【問合先】子育て支援課 子育て支援係 ☎ 65・0081



梅野よしみ 保育士

よく利用していた子どもたちが幼稚園等に入園した後の4、5月は毎年利用者が少なくて寂しい思いをするのですが、コロナ禍で閉所している時からすれば、これから新しい親子との出会いに希望が持てます。

ピヨピヨ教室（2か月健診）で毎回子育て支援センター“ひまわりのたね”を紹介しています。その時部屋を見学に来て、「もう少し大きくなったら来ます。」と言われた方や、助産師訪問で勧められた方など、少しずつあそびに来てもらっています。

初めは、緊張気味のお母さんと私たち。その緊張を和らげてくれるのは、もちろん子ども！離れた所から声をかけ、泣かないで徐々に近づき、良ければ抱かせてもらっています。癒されるひと時です。

「どうやってあそんでやつたらいいのか、分からなくて」と悩んでいるお母さんに、「まだ小さいので、身体を摩ったりしながら笑顔で話しかけてあげていたら大丈夫ですよ。」と話しました。我が子に、「がんばって！ きっと大丈夫ですよ。」と話しました。

■新米ママたち笑顔で！

い？」と心配そうなお母さん。初々しさを感じながら赤ちゃんを抱きあげるとほつとしていました。

授乳の時は私たちも距離を置きます。お母さんが母乳やミルクをあげている姿にも癒されます。

授乳が済むと、ささやくように話しかけているお母さんを見て、また優しい気持ちになります。子どもを授かったことで、お母さんとして育っていく様子を見せてもらっています。

子どもが眠っている時は、美味しい店の話や、たわいもない話で笑い合うことも。少しずつ親子でリラックスしてくれればと思います。こうして“ひまわりのたね”は今年度も活気を出しつつあります。



日々の成長が楽しみ！

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

- 【開館】月～金曜日 9～16時
- 【場所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内
- 【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者
- ※利用には保護者の付き添いが必要です
- 【利用料】無料